

リリカラ アンダーレイ
施工要領書

■リリカラ アンダーレイ 施工可能仕上材の組み合わせと使用接着剤

施工可能 仕上げ材	ビニル床シート	ビニル床タイル	置敷きビニル床タイル	タイルカーペット	ロールカーペット
	単層ビニル床シート (記号：TS) 複層ビニル床シート (記号：FS) 発泡複層ビニル床シート (記号：HS)	単層ビニル床タイル (記号：TT) 複層ビニル床タイル (記号：FT)	置敷きビニル床タイル (記号：FOA) 薄型置敷きビニル床 タイル (記号：FOB)		
	総厚 2.0～3.5mm	総厚 2.5 mm以上 (面取り加工品のみ)	総厚 3.0 mm以上 (面取り加工品のみ)	総厚 6.0 mm以上	総厚 6.0 mm以上 グリッパー工法 全面接着工法
仕上げ材と アンダーレイの 接着剤	床仕上げ材メーカー 推奨 ウレタン樹脂系溶剤形	床仕上げ材メーカー 推奨 ウレタン樹脂系溶剤形	床仕上げ材メーカー 推奨 ピールアップボンド	床仕上げ材 メーカー推奨 ピールアップボンド	床仕上げ材メカ ー推奨 一般工法 用接着剤 ※全面接着工法の 場合
下地と アンダーレイの 接着剤	一般工法：アクリル樹脂系エマルジョン形 (リリカラセメント AC) 耐湿工法：ウレタン樹脂系溶剤形 (リリカラセメント U)				

※注：発泡複層ビニル床シート (HS) は発泡層の厚さが 2.5mm 以上のものは施工できません。

※クッションフロア、メラミンタイル、コンポジションビニル床タイルには使用できません。

※二重床には使用できません。

※屋外、半屋外及び常時水を大量に使用する場所では使用できません。

※リリカラ アンダーレイの重ね貼りはできません。

1. 施工上の注意

- ・下地は平滑で十分に乾燥していることを確認し、塵埃を取り除いて下さい。
- ・不織布面（巻内側）を下地側に向けて施工して下さい。
- ・リバー施工をして下さい。
- ・接合部は重ね切りし、隙間ができないように施工してください。（シームシーラー等は必要ございません）
- ・施工後は、しごき棒でエア抜きを丁寧に行ってください。

2. 仕上材施工上の注意

- ・リリカラ アンダーレイ施工後、2 4 時間以上養生してから仕上材を施工して下さい。
- ・床仕上材とリリカラ アンダーレイの目地は重ならないようにして下さい。
- ・置敷きビニル床タイルやタイルカーペットに施工する場合、塩ビ発泡面に接着剤を塗布しますので、塗布量は使用する接着剤の非吸水性下地の塗布量に従って下さい。
塗布量が多いとピールアップ性を損ねる場合があります。
- ・その他、各仕上材の施工方法を準拠して施工して下さい。

3. 運搬および保管上の注意

- ・荷下ろし時の落下による耳部の損傷にご注意して下さい。
- ・重量物ですので慎重に取り扱い、器物との接触にご注意して下さい。
- ・水濡れのない平滑な場所に立てて保管してください。必要に応じてロープ等で固定し、転倒防止の措置をして下さい。
- ・変形する恐れがありますので、長時間の横置き保管は避けて下さい。

4. 維持管理および使用上の注意

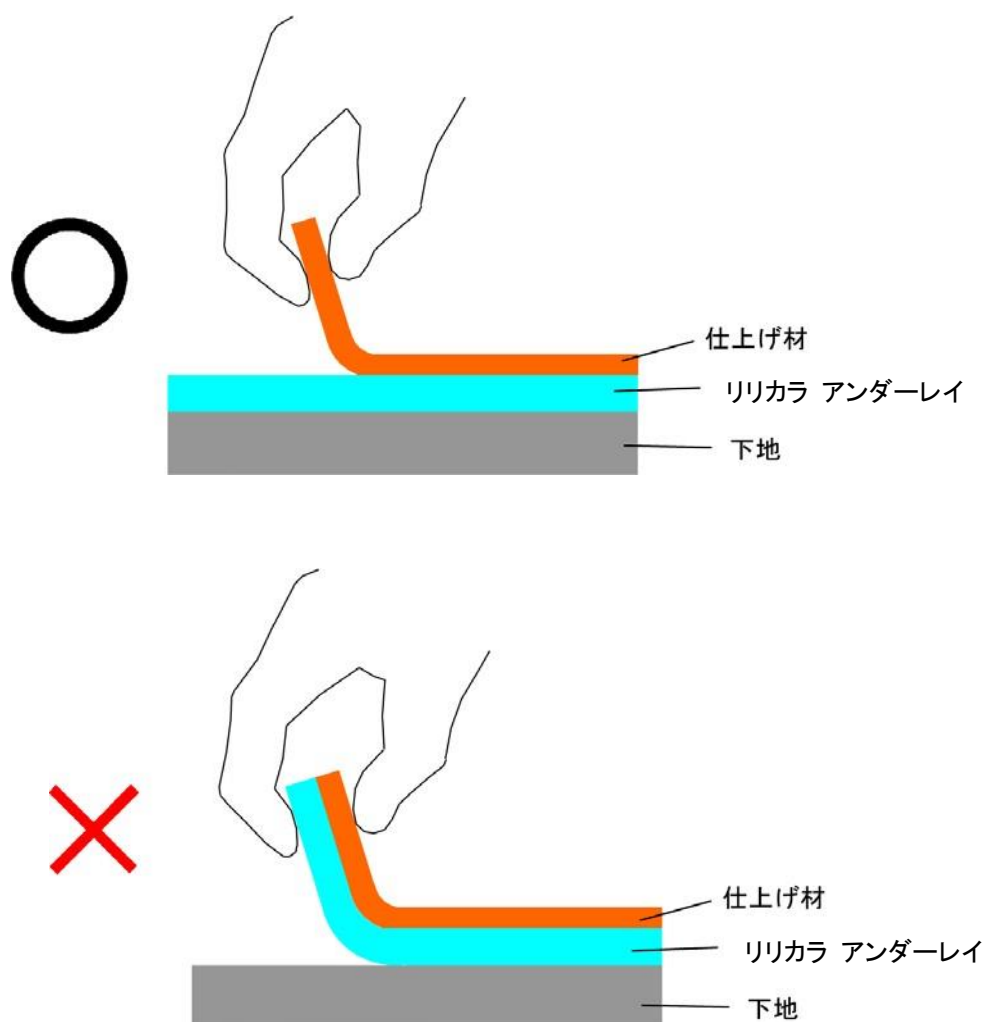
- ・家具などの重量物を設置すると凹み跡が残ります。敷板などを使用し荷重を分散して下さい。
- ・キャスター往来の著しい場所では、車輪跡が残りますのでご留意願います。
- ・仕上材が、ピールアップ接着剤で施工する置敷きビニル床タイル、タイルカーペットの場合はリリカラ アンダーレイをリユースすることができます。
再度施工できる仕上材は同じピールアップ接着剤を使用する置敷きビニル床タイルとタイルカーペットのみとなります。
(次ページ参照)

5. 仕上材の上手な剥がし方（ピールアップ工法の場合のみ）

- ・リリカラ アンダーレイは、既存仕上材の剥がし方によってはそのまま利用することができます。
- ・再利用の可否は、既存仕上材を剥がした後のアンダーレイの表面状態で判断して下さい。

仕上材だけをつかんで剥がして下さい。

リリカラ アンダーレイを残したまま仕上材だけを 剥がすことができます。



- ご使用時の状況によっては、再利用可能な状態で剥がせない場合も考えられます。
あらかじめご了承下さい。
- 再利用時は、リリカラ アンダーレイに破損がないことを十分にご確認の上、仕上材を施工して下さい。